

＜第12回日本音楽療法学会四国支部学術大会（愛媛，2016.11.23）＞

日本音楽療法学会四国支部報告（2016.6.30）発行

日本音楽療法学会・四国支部では、毎年4つの県の持ち回りによって、四国支部学術大会を開催して参りました。本来今年度は香川県の当番ですが、前述のとおり再来年の全国大会に向けて、香川のスタッフは既に準備に入っておりますので、支部大会は、香川を飛ばして愛媛、高知と開催をした後に、全国大会と支部大会を兼ねた香川大会を実施することが昨年度の支部総会で決まりました。従いまして、平成28年度は愛媛県が担当となり、下記の内容で、第12回大会を開催いたします。皆さま方のご参加をお待ちしております。

大会長 藤井澄子

記

第12回日本音楽療法学会四国支部学術大会および総会のご案内

日 時：平成28年11月23日（火）（祝） 10時から16時

場 所：聖カタリナ大学（〒799-2496 松山市北条660 電話089-993-0702）

（学内会場は申込人数により、当日の会場案内にてお知らせいたします。）

大会テーマ「これからの高齢社会に音楽療法はどう貢献できるか」

大会長：藤井澄子

プログラム

1. 教育講演 講師 恒吉 和徳（聖カタリナ大学人間福祉学科教授）
演題：高齢社会の現状と提言
2. 公開スーパービジョン
スーパーバイザー：生野 里花（東海大学、野花ひととおんがく研究舎）
スーパーバイジー：四国支部会員より募集します
3. パネルディスカッション
テーマ：「音楽療法ってこんなに素晴らしい」
パネラー：新 緑（高齢者領域）
：川東 伸江（精神科領域）
：寺田 光（ターミナル領域）
助言者：生野 里花／恒吉 和徳
コーディネーター：藤井 澄子
4. ポスター発表
四国支部会員より募集します
5. 総会

